

専門部会報告

第5期産業振興計画の令和8年度の取り組みの強化の
ポイントに対する意見について

1	農業部会	1
2	林業部会	2
3	水産業部会	3
4	商工業部会	4
5	観光部会	5

農業部会報告(産業成長戦略／農業分野)

1. 専門部会での評価と主な意見

令和7年度の進捗状況及び令和8年度の取り組みの強化のポイントについては、原案どおり了承された。

また、事務局からの説明に対し、部会員から以下のとおり意見・要望等が出された。

【主な意見】

(1) 気候変動に適応した栽培技術の普及推進

- ① 高温対策の補助金の申請に時間を要し、対策が必要な夏までに補助を受けることができないことがあるため、補助金申請の審査の簡素化等により申請から補助導入までの期間を短くしてほしい。
- ② 果樹では、秋以降の少雨による水不足が問題となっている。1月中旬からの寒波による被害も懸念される。
- ③ 今後新たに対策が必要になった場合は、課題の重要度を見た上で、臨機応変な対応をお願いしたい。

(2) 水田農業の振興

- ① 米の民間在庫が過去最高となる見込みの中で、今後の価格形成の不透明さが課題。
- ② 高知県産米は、反収と品質が他県と比べて低いことが課題。今後、県産米を輸出していく上でも、価格競争力のある米作りが必要。

(3) 多様な担い手の確保・育成

- ① 大学生向けのプロモーション動画作成など、大学生に向けたPRも必要。県内大学の卒業後の高知県内定着率向上のために、大学との連携強化をお願いしたい。
- ② 今年が「国際女性農業従事者年」であることを踏まえて、女性農家の活動などのPR強化をお願いしたい。

林業部会報告(産業成長戦略／林業分野)

1. 専門部会での評価と主な意見

令和7年度の進捗状況及び令和8年度の強化のポイントについては、原案どおり了承された。

また、事務局からの説明に対し、部会員から以下のとおり意見・要望等が出された。

【主な意見】

(1) 間伐から皆伐施業への展開の促進

- ① 傾斜地の多い本県では、トラックが走行できる輸送力のある道路整備が必要。林道整備促進協議会などの場で、引き続き検討を深めてほしい。

(2) 大径材の利用促進

- ① 全国植樹祭の会場整備において、大屋根リングの木材や大径材の利用を検討してはどうか。

(3) 製材工場の生産性の向上

- ① 自動化が進んでいる合板工場などの取組にも目を向けて、中小製材工場の生産性の向上について検討してはどうか。

(4) 地域の製材加工体制の維持

- ① 林業事業者が廃業する製材工場の機械を活用して、地域の製材加工体制を維持しようとする取組がある。地域に貴重な製材施設を生かすロールモデルとなるよう支援してほしい。

(5) 担い手の育成・確保

- ① 林業では、作業現場内で従事者同士が目が届かない場所に離れて荷下ろしなどの作業をすることがあり、危険。作業場所へのカメラの設置など安全性を向上させる取組に支援できないか。
- ② 林業大学校では、研修生が講師となり高校生にチェーンソーワークの基礎を教える取組を行っている。担い手確保と研修生の技術向上において効果的な取組であるため引き続き実施してほしい。

水産業部会報告(産業成長戦略／水産業分野)

1. 専門部会での評価と主な意見

令和7年度の進捗状況及び令和8年度の強化のポイントについては、原案どおり了承された。

また、事務局からの説明に対し、部会員から以下のとおり意見・要望等が出された。

【主な意見】

(1) 高知マリンイノベーションの推進

市場のスマート化について、漁協職員の作業の省力化など効果が出てきているが、最終的にどのような形にしていくのかがはっきりとは見えていないので、漁協や仲買人とも協議をしながら検討していただきたい。

(2) 養殖業の振興

養殖漁場への企業誘致について、新規参入事業者が大量に生産を行うことで魚価が下落することが懸念されるので、そうしたリスクに対する既存漁業者の保護について検討していただきたい。

(3) 担い手の確保・育成

- ① 漁業に全く関係のない方でも、漁業に関する動画や求人情報をきっかけに就業を希望することもある。そのため、担い手確保に向けた情報発信には力を入れて取り組んでいただきたい。
- ② 水産加工業において、外国人の技能実習生は欠かせない存在となってきているが、彼らの仕事やプライベートをさらに充実させるためにも、日本語習得への支援をさらに充実していただきたい。
- ③ 外国人材の受入れについて、大きな合併漁協などでは対応ができるかもしれないが、小さな漁協では対応が難しいと思うので、県による受入れ機関の設置について検討が必要と考える。
- ④ 定置網漁業等への女性の就業はこれまでになかった光景。人材確保でどこも大変な状況の中、こういった形が定着して広がっていくとよい。

商工業部会報告(産業成長戦略／商工業分野)

1. 専門部会での評価と主な意見

令和7年度の進捗状況及び令和8年度の強化のポイントについては、原案どおり了承された。

また、事務局からの説明に対し、部会員から以下のとおり意見・要望等が出された。

【主な意見】

(1) 外国人材の受入・活躍推進

生産年齢人口が減少する中、外国人材を受け入れることが必要不可欠。

外国人材はSNSを使って情報共有しており、良い情報がある所に移動してしまうため、就労しやすく住みやすい環境を整えていく必要がある。

(2) 海外展開の促進

外国人材の受入や工業製品の輸出、農業の技術支援など、いくつかの分野で外国との関係が深まっている。

このパイプをさらに太くするために、分野を横断させて、これまで農業分野で関係を築いてきた国と工業製品をやりとりするなど、県全体で取り組んでもらいたい。

(3) 県内事業者のデジタル化の促進

① デジタル化について、ここ数年様々な施策を実施しているが、裾野の拡大に加えて、県内のデジタル化を牽引するキーマンとなる事業者を重点的に育てていくことも必要ではないか。

② 高知県は特に中小・小規模事業者が多く、DXへの取組にあたって様々なハードルがあるため、地域の団体等から情報を吸い上げて、適切な支援をお願いしたい。

観光部会報告(産業成長戦略／観光分野)

1. 専門部会での評価と主な意見

令和7年度の進捗状況及び令和8年度の強化のポイントについては、原案どおり了承された。

また、事務局からの説明に対し、部会員から以下のとおり意見・要望等が出された。

【主な意見】

(1) インバウンド向けプロモーションについて

インバウンドが何を求めているのかを、地域の観光の担い手となる人に情報提供をしてもらいたい。例えば、台湾の方は「職人」という言葉に敏感であり、そういう人に会えることに魅力を感じる。

(2) クルーズ客船の観光客の受け入れについて

① クルーズ客は、宿泊はないとしても、観光消費額の点ではインパクトがあるので、商店街でいかに買い物をしていただくかという視点での取り組みをしっかりと進めてもらいたい。

② クルーズ船の寄港日は平日が多いが、水曜日は商店街の店舗が休業していることが多く、何か対策はないか。

(3) 宿泊施設を中心とした長期滞在できる地域づくりについて

分散型ホテルに関しては、食事をする場所も重要。地元の食堂を活用するだけでなく、その場所にどういう食事場所があったら良いのか、という視点を持って地域づくりを進めていただきたい。

(4) 観光人材の確保について

① 本県への留学生には、ホテルなど観光業への就職に関心を持つ者が多い。一方で、その就職に向けた情報が留学生に届く仕組みが十分でないと感じるので、その対応を検討していただきたい。

② 宿泊施設における繁忙期の人手不足対策としては、給与以外の面で高知で働くメリットを訴求していくことで、県外からの非正規人材の確保が進むのではないか。

(5) MICEの誘致について

MICEについて、これまでは国内の全国大会を誘致していたものを、今後は世界大会の誘致ができないか。(例として、世界林業会議を挙げて)

(6) 閑散期対策について

夜間イベントによって、宿泊数の増加に繋げていただきたい。冬の食キャンペーンについても、新たな閑散期対策として継続して取り組んでももらいたい。